

令和7年度 愛知県立日進西高等学校 学校評価【中間評価】

本年度の 重点目標	1 授業、HR活動、部活動、委員会活動など学校生活のあらゆる場面において、生徒が前面に出る教育活動を行い、生徒が主役の学校づくりを行う。 2 生徒一人一台タブレットを始めとするＩＣＴ機器を効果的に活用しつつ、思考力・判断力・表現力を高める授業を積極的にを行いながら「分かる授業」「自律的な学習者の育成」に努める。 3 生徒に責任と義務を自覚させるとともに規範意識を高め、自他の命を重んじ、人権に配慮した生徒指導を行う。生徒・ＰＴＡを交えた校則の見直しが行える仕組みづくりを行い、生徒の心理的安全の確保が出来る学校風土の土台を作る。 4 開かれた学校づくり実現のために、学校HPやSNSを充実させ、外部団体・地域との関わり深めるなど、校内に留まらない教育活動の活性化と広報活動に取り組む。 5 協働の精神をもって職務にあたりながら教員の働き方改革を進めるとともに、日々の教育活動や学校行事等の意義や効果を確認しながら、実践と改善を行う。		
項目（担当）	重点目標	中間評価 (a b c)	備 考
総 務 部	1 P T A活動の積極的な参加を図る 2 日進西高校安心メールの活用 3 文化祭 P T A企画の検討	1 a 2 b 3 b	1 体育祭・文化祭に多数の保護者の参加があった。 2 保護者への連絡メールとしては積極的に活用できている。 3 P T A委員の方への負担が大きいように思われる
教 務 部	ＩＣＴを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業及び評価を行う。	b	10/27(月)から 29(水)の公開授業期間に、各教科の探究的な学習活動推進委員が、ＩＣＴ機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」のある授業を実施する予定である。適切なフィードバックを行い、更なる授業改善に繋げていきたい。
生徒指導部	1 指導の定着 2 生徒の安全意識の向上 3 いじめ未然防止に係る取組の充実、いじめの早期発見、適切な事案対処 4 生徒の主体的・自主的活動を支援	1 b 2 b 3 b 4 a	1 ファイルサーバー内にある【生徒指導情報】を利用し、生徒指導案件を共有することができたため、生徒指導部として状況確認等含めた迅速な対応をとることができた。今後は学校全体で指導していける体制を整えていきたい。 2 交通事故の報告が4月から20件以上あること、近隣からのマナーに対する意見もあり、生徒の自転車マナーの意識を高めることができていない。 3 面談週間を設定するなど、生徒が生活する上で悩みを打ち明けやすい環境を整えることはできている。10月にはいじめ防止講話を実施し、その後アンケート等も実施する。 4 文化祭や体育祭の学校行事において、生徒が前面に出る教育活動を行うことができた。生徒会役員を積極的に活動させることができた。
進路指導部	1 在り方生き方についての自覚と自己を生かす能力の育成 2 勤労観・職業観に基づく進路意識の向上と自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学び続ける姿勢の育成 3 学習習慣を身につけさせ、生徒の基礎学力向上を図り、自己の進路目標を実践していく力の育成	1 a 2 a 3 b	1 社会の一員としての自覚を芽生えさせ、自己の在り方生き方について考える方策として、日進市探究プロジェクトを実施中。 2 私立幼稚園体験や看護体験などを通じてキャリア形成を図っている。また、進路学習に資する書籍の教室への配本、学習会や模擬試験の実施、外部検定の受験支援などにより、生徒の進路意識を高めるよう努めている。 3 学習成果の成果を学びの基礎診断によって確認し、当該学年や教科に情報提供を行い、さらなる学習につなげられるように努めている。
保 健 部	心身共に健康で明るく日常生活を営むための基本的な資質・能力を養う。	b	安全点検を活用して環境整備に努めたが、清掃への取り組みには課題が残る。 学校生活調査を実施し、生徒が抱える問題の早期発見に努めた。

メディア・ 研修部	1 読書への関心と図書室利用の向上 2 委員会活動の活性化 3 I C T教育の向上 4 教員のセキュリティ意識の向上 5 教員の基本的スキルの習得 6 備品管理とシステムの保守	1 b 2 b 3 b 4 b 5 a 6 b	1 図書館報の再開を決定し、編集集中である。 2 閲覧係と図書館報係に分けて活動することにした。 3 活用状況の向上が見られるも、映像装置の劣化が目立つ。 4 セキュリティに係るインシデントは発生していない。 5 生成A Iに係る研修受講者が5名程度いる。 6 損傷事故やシステム障害は発生していない。
1 年	1 基本的生活習慣の確立 2 基礎学力の定着、学習環境の整備 3 自主性、自律性を育てる。	1 b 2 b 3 b	1 遅刻、早退の数は減少傾向にあるが、一部、欠席が増加傾向にある。日々の声掛けを強化していく。 2 落ち着いて授業に取り組んでいるが、計画的かつ繰り返し課題に取り組む力を育む必要がある。 3 発言する際に「わかりません」と即答する傾向がある。また、調べ学習においてもA Iツールに依存する傾向がある。主体性や積極性を高めるよう、発問等工夫していきたい。
2 年	1 基本的生活習慣を維持させる。 2 行事等、集団生活を通して協働性を養う。 3 自主自律自学の精神を育む。	1 b 2 a 3 b	1 遅刻の数は減少しているが、早退、欠席の数は一定数いる。丁寧に声掛け、指導をしていく。 2 ここまでの学校行事において、多くの生徒が他と協力し、前向きに取り組んでいる。 3 1年次よりも自主的に動き、自ら学習する姿勢がみられるようになったが、指示を待ってから動き出す生徒も一定数いるので、自主性を促す声掛け・働きかけをしていきたい。
3 年	1 基本的生活習慣を維持させる。 2 より高い進路目標の設定と学力伸長を援助する。 3 自啓自発の実践	1 b 2 a 3 b	1 授業、補習に向かう姿勢の部分では頑張れる生徒が多かったが、これから受験が近づいた時期の欠席が多くならないように体調管理の声掛けや面談を通してストレス軽減を図るなどさらに対策していきたい。 2 定期的に進路検討会を開き、より高い目標設定やより確実な目標設定等に向けた助言をすることができた。生徒にとってよりよい進路指導を推進するため、各担任からの面談のみならず普段からコミュニケーションを取るなど対策をしていきたい。 3 総合的な探究の時間を活用し、自己の進路実現に応じた探究講座を選択させ、自啓自発の実践を試みたが、まだ受け身な態度の生徒も多い。生徒が自ら学び、調べ、行動していけるように促していきたい。